

近畿中部



「近中くん」
 近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
 生年月日：平成19年9月1日（防災の日）
 出身：近畿中部地方
 名前：近中くん（きんちゅうくん）
 職業：癒し業
 宝物：手作りのまが玉札
 趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
 特技：おこしめ、おしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2016

7/8月号

日米交流音楽会

主催：近畿中部防衛局 後援：京丹後市国際交流協会 協賛：経ヶ岬通信所・横田基地



目次

日米交流音楽会 ～経ヶ岬通信所周辺市民と米軍関係者との交流～	2～3
陸上自衛隊中部方面隊防災演習～南海レスキュー28	4
小松飛行場での航空機訓練移転の実施	
経ヶ岬通信所に関する動き	5
自治体めぐり～京都府舞鶴市	6
近畿中部防衛局からのお知らせ	7
なるほど防衛豆知識「南西地域の防空態勢の充実とは」	8

日米交流音楽会 ～経ヶ岬通信所周辺市民と米軍関係者との交流～

近畿中部防衛局は、6月13日（月）、京丹後市の京都府丹後文化会館にて、日米交流事業（日米交流音楽会）を開催しました。米国空軍太平洋音楽隊パシフィック・ショーケース、地元の丹後吹奏楽団及びモダンバレエ団プティ・エトワール、米軍経ヶ岬通信所が出演し、演奏や踊り、歌を披露しました。

東京都福生市に所在する在日米軍横田基地から来演したパシフィック・ショーケースはジャズをメインに、日本でも有名なCMソングや「世界に一つだけの花」等、約10曲を熱演し、会場を盛り上げました。来場者からは、軽妙なパフォーマンスや本格的な演奏に「見ていても楽しかった。」「本物のジャズに感動した。」等の声を頂きました。丹後吹奏楽団は、ディズニー映画「アナと雪の女王」の主題歌「Let It Go」やNHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」の主題歌「365日の紙飛行機」等を演奏し、会場では一緒に口ずさむ来場者も多く見られました。またプティ・エトワールは、丹後吹奏楽団のブロードウェイ・ミュージカル「ウェストサイド物語」の劇中歌「アメリカ」の演奏に合わせて踊りを披露し、会場は和やかな雰囲気になりました。さらに、両楽団のコラボ演奏や来場者と出演者が一緒に「翼をください」等を全員合唱し、大好評のうちに幕を閉じました。

当日は地元の方々約600名が来場され、「京丹後でこのような素晴らしい音楽が聴けて大満足した。」「またこのような機会を設けてほしい。」「日米交流を通じて、お互いの理解が深まった。」等の感想を頂き、日米双方にとって良い交流の機会となりました。当局としましては、今後とも親密な日米関係を築くことが出来るよう、日米交流事業を実施してまいります。

パシフィック・ショーケースのパフォーマンス①



パシフィック・ショーケースのパフォーマンス②



パシフィック・ショーケースのパフォーマンス③



パシフィック・ショーケースの司会者と指揮者



丹後吹奏楽団のパフォーマンス①



丹後吹奏楽団のパフォーマンス②



丹後吹奏楽団の演奏に合わせて踊るプティ・エトワール



パシフィック・ショーケースと丹後吹奏楽団のコラボ演奏



最後は出演者全員で記念撮影

陸上自衛隊中部方面隊防災演習～南海レスキュー28

中部方面隊は、7 月 5 日から 9 日までの間、南海トラフ地震の発生を想定した防災演習を実施しました。

南海トラフ地震を想定した演習は「南海トラフ対処演習 5 ケ年計画」の 4 年目となります。演習には、人員約 5, 5 0 0 名、車両約 7 0 0 両、航空機約 1 0 機が参加して行われました。

演習は、地方自治体との連絡・調整、海・空自衛隊等の連携並びに陸上自衛隊の他方面隊からの増援部隊受け入れにより南海トラフ地震発生時の救援活動などの実効性の向上を図ること及び地震発生時に迅速かつ円滑に活動できるように対処計画の更なる深化を図ることを目的として、地震発生から 7 2 時間の被災状況下の活動を「図上演習」と「実動演習」により実施しました。



三重県庁災害対策本部の様子



災害協定に基づく N T T ドコモとの連携

(写真提供：中部方面総監部広報室)

小松飛行場での航空機訓練移転の実施



7 月 2 5 日から 2 9 日までの間、米軍再編に係る嘉手納飛行場から小松飛行場への訓練移転（日米共同訓練）が実施されました。訓練移転は、在日米軍の航空機部隊が自衛隊の飛行場に移動して共同訓練を行うことで、日米間の相互運用性を向上させるとともに在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減することを目的としています。

近畿中部防衛局は、関係地元自治体等との連絡調整や不測の事態に迅速に対処するため、現地対策本部を設置し、小松飛行場周辺の騒音測定や夜間の市街地巡回などを行いました。

訓練終了後、米軍の第 1 8 航空団第 6 7 戦闘飛行中隊訓練派遣部隊長のデヴィット・クーン大尉は、「今回の訓練により、米軍と航空自衛隊の絆が強化されただけでなく、地域全体の平和維持に対する我々のコミットメントと能力が高まった。」とコメントしました。



現地対策本部における米軍との調整



市街地巡回の様子

米軍経ヶ岬通信所に関する動き

第8回安全・安心対策連絡会を開催

6月20日（月）米軍経ヶ岬通信所の設置に係る第8回安全・安心対策連絡会が開催され、近畿中部防衛局から、騒音調査の結果や交通安全に関する取組等について説明を行いました。

米軍経ヶ岬通信所のカルデナス司令官からは、事件・事故の未然防止へ向けた取組や、日米交流の実施状況等について紹介がありました。出席者からは、事件・事故防止の徹底等について率直な意見が出され、活発な議論が交わされました。当局は、今後も関係各機関と連携を図りながら、より一層の安全・安心の確保に向けて取り組んでまいります。

※同連絡会は、米軍経ヶ岬通信所の設置に当たり、国、米軍、関係自治体、地域住民代表及び関係機関が連携して、安全で安心なまちづくりの発展に寄与するための取り組みについて協議・推進することを目的として平成26年に発足。



開催状況



近畿中部防衛局からの説明

地域との交流 ～袖志海岸清掃活動に参加～

6月26日（日）夏の海水浴シーズンを前に地元袖志地区海岸清掃に米陸軍経ヶ岬通信所軍人軍属及び日本人従業員有志10名に加え航空自衛隊経ヶ岬分屯基地隊員及び近畿中部防衛局職員の有志10名も参加し、ボランティア活動を行いました。袖志地区では、年に数回海岸清掃が行われており、参加した米軍関係者は大小様々なゴミを集め、大きな袋に詰めこみ、急斜面を登って国道沿いの集積所まで運んでいきました。地元の皆さんと力を合わせて作業した結果1時間で約20袋ものゴミが集まりました。



集めたゴミを袋に詰め込む参加者

参加した米軍関係者は、ボランティア活動を通じ地域に貢献できることを大変喜んでいました。

第8回交通安全講習会を開催

7月22日（金）近畿中部防衛局と京丹後警察署は、京丹後市の峰山自動車学校とJ A F 京都支部に御協力いただき、第8回交通安全講習会を開催しました。この講習は、経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者が日本の交通ルールや地域の道路交通事情について学び、交通安全に対する理解を深めることを目的としています。実車講習のほか、模擬衝突体験機を使用した時速5kmからの衝突体験によってシートベルトの効果を実感し、また、横断歩道における交通違反等について解説を受けました。今後とも、地域の安全・安心のため、交通事故防止へ向けた取り組みの一端として取り組んでまいります。



シートベルトコンビンサー体験

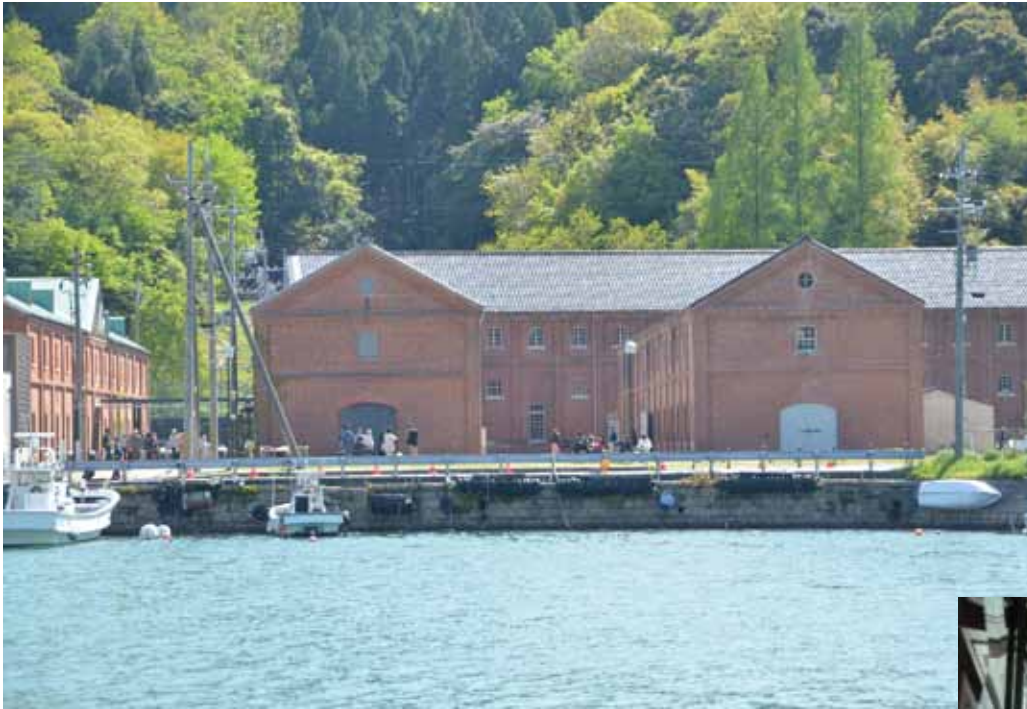


実車講習の様子

自治体めぐり～京都府舞鶴市

舞鶴市は京都府北部、日本海に面する港町です。複雑に入り組んだリアス式海岸は古くから天然の良港として栄え、今から百年前、旧海軍舞鶴鎮守府が置かれ、近代化への歩みを始めました。市内には当時の技術の粋を集めて築かれた赤れんが建造物、鉄道や水道など様々な施設が今も残り、ノスタルジックな雰囲気を醸し出しており、この度、4月25日に日本遺産に認定されました。

8棟の赤れんが倉庫群が建ち並ぶ赤れんがパークは、真夏のプロジェクションマッピングや、赤れんがフェスタ(10月)、バザールなど1年を通して様々なイベントが開催され、多くの観光客で賑わっています。



海沿いに赤れんが倉庫が並ぶ赤れんがパーク

祝！！日本遺産認定

明治時代、近代国家としてふさわしい国力を備えるため、地勢条件を満たす4港に軍港が築されました。

4港に選ばれた横須賀、呉、佐世保、舞鶴には今も、当時の面影が残り、当時の躍動を体感できるまちとして日本遺産に認定されました。



プロジェクションマッピング

舞鶴の日本遺産構成文化財



海軍記念館



北吸トンネル
(きたすい)



東郷邸



桂貯水池
(かつら)



旧北吸浄水場配水池施設
(きたすい)

赤れんがフェスタ in 舞鶴 2016



アート&クラフトフェアやジャズライブ、グルメフェアなど秋恒例のイベント。

(平成28年10月22日(土)、23日(日)開催予定)

(写真提供: 舞鶴市)

近畿中部防衛局からのお知らせ

近畿中部防衛局幹部紹介～この夏の異動で幹部が交代しました

藤代近畿中部防衛局長着任

広報誌「近畿中部」の読者の皆さま、はじめまして。7月1日付けで近畿中部防衛局長を拝命しました藤代です。

私は、昭和55年に防衛施設庁に採用されて以来、主として防衛施設行政に従事してきました。この度、近畿中部防衛局長の重責を担うこととなり、大変名誉に思うのと同時に、その責任の重さを感じ、身の引き締まる思いが致しております。私の前職は、防衛省地方協力局地方調整課長でしたので、近畿中部防衛局のさまざまな課題についても取り組んで参りました。しかしながら、関西勤務は始めてとなりますので、何よりも先ずは現場に出向き、その声を聞き、現状を的確に把握することから始めたいと考えています。近畿中部防衛局の役割は、地域住民の皆様と自衛隊及び在日米軍との架け橋となることです。地域住民の皆様これを実感してもらえよう、誠心誠意職務に邁進する所存です。局の皆さんと共に基地対策をはじめ近畿中部防衛局が講じるあらゆる施策について、地域住民の皆様に対してわかりやすく丁寧な説明を心がけていきたいと思ひます。以上、簡単ではございますが、私の着任の挨拶とさせていただきます。



着任に当たり職員へ訓示する藤代近畿中部防衛局長

S55.4 防衛施設庁入庁

H21.8 中国四国防衛局企画部長

H24.8 大臣官房参事官

H25.9 地方協力局施設管理課長

H27.1 地方協力局地方調整課長

H28.7 現職

次長 城戸 謙憲



7月1日付けで防衛研究所企画部長から本職に着任しました。アカデミックな環境から防衛省・自衛隊と地域の方々との懸け橋となるという第一線の任務に就くことに充実感を感じており、尽力する所存です。

企画部長 伊藤 吉和



7月1日付けで着任しました企画部長の伊藤です。企画部の業務に当たっては、防衛施設周辺の自治体、住民の皆様方との信頼関係が重要です。私も諸先輩方が築いてこられた関係となるよう努力してまいります。

優秀工事の感謝状及び顕彰状贈呈式

近畿中部防衛局において、当局発注工事の優秀工事受注者等に対し、6月29日に局長感謝状、7月1日に顕彰状の贈呈式を行いました。この表彰は、特に品質等が優れ、他の模範とするにふさわしい優秀工事を表彰することにより、入札参加者の受注意欲を高め工事目的物の品質確保を図る等、円滑な施設取得の推進に資することを目的としています。

今年度は優秀工事5件及び優秀工事技術者1者が選定され、近畿中部防衛局長から感謝状、調達部長から顕彰状がそれぞれ贈呈されました。



部長顕彰 対象工事	受賞者(敬称略)
小松(25)貯蔵庫新設土木その他工事 小松(27)貯蔵庫新設土木その他追加工事	株式会社桑原組 株式会社桑原組 監理技術者:佐野 稔
小松(26)格納庫新設電気その他工事	北陸電気工事株式会社
大久保外(26)宿舍改修機械工事	柳生設備株式会社

局長感謝状 対象工事

小松外(25)器材庫新設等建築その他工事

受賞者(敬称略)

加越建設株式会社



なるほど防衛豆知識

質問：南西地域の防空態勢の充実とは

回答：

近年、わが国周辺の海空域における周辺国の活動は、拡大・活発化しています。特に、中国は東シナ海において、わが国領海への断続的な侵入や領空の侵犯などを行うとともに、独自の主張に基づく「東シナ海防空識別区」の設定といった公海上空の飛行の自由を妨げるような動きを含む、不測の事態を招きかねない危険な行為を引き起こしています。このような状況を踏まえ、南西地域における防空態勢を充実させるため、航空自衛隊は、平成26年4月20日に警戒航空隊の改編を行い、「第603飛行隊」を那覇基地に新編し、早期警戒機（E-2C）を配置しました。また、今年平成28年1月31日には、同じく那覇基地に第9航空団を新編し、今までのF-15戦闘機1個飛行隊編成から2個飛行隊編成としました。

第603飛行隊及び第9航空団の新編により、南西地域における常続的かつ安定的な警戒監視活動を、より確実にを行う体制を整備し、各種事態における実効的な抑止及び対処を実現するための前提となる航空優勢の獲得・維持を図ることが可能となります。



警戒航空隊の「第603飛行隊」を新編



第83航空隊の廃止と第9航空団の新編

■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動などを皆様にお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構です。お聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

(住所)

〒540-0008

大阪府中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

(電話・FAX)

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

(メールアドレス)

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局広報誌「近畿中部」は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2016年7/8月号（通算第43号）

平成28年8月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。